

教職実践演習（中・高）	平沢 信康 堤ひろゆき 門倉 憲一
--------------------	-------------------------

1. 授業のねらい・概要

「教育実習」での経験をもとに、「教科内容を指導する力」、「生徒理解や学級経営に資する力」、「社会性を構築したり人間関係を形成したりする力」について、ロールプレイングや事例研究、グループ・ディスカッション等を行う。これらを通じて、教員に求められる専門的知識や指導技術、教員としての資質能力を総合的に点検するとともに、教員を目指すうえでの今後の課題を明確化する。

2. 授業の進め方

講義やグループ・ディスカッション、ロールプレイング、事例研究、発表活動などを組み合わせ、教育現場が有する課題に対し、より実践的な問題解決能力を身につけることを目指す。また、受講者の体験や各自が抱えている課題意識を積極的に表現する機会を数多く設定したい。

3. 授業計画

<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（活動内容の確認と授業計画） 2. 教職課程における学修の意義とその振り返り 3. 教育実習の振り返りと課題抽出 4. 教職をめぐる関係法規の再確認 5. 教科内容の選択と配列を工夫した授業づくり 6. 模擬授業場面を通じた教科内容の指導力の確認 7. 生徒一人ひとりの理解と実態把握に役立つスキル 8. 生徒一人ひとりと学級集団との関わりあいを生かした学級経営 9. 生徒理解と学級経営上の課題とその対応 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 個と集団の関わりあいを生かした生徒理解と学級経営のあり方 11. 学校組織における社会性や人間関係形成能力に関する確認 12. 家庭・地域とともに築く社会性や人間関係形成能力に関する確認 13. 社会性の構築や人間関係形成力の獲得へ向けた学修成果の振り返り 14. 教員に必要とされる社会性や人間関係形成能力のあり方 15. 教師に必要とされる資質能力のまとめ
---	---

4. 到達目標

履修者の履修履歴をふまえ、教員に必要とされる知識、技能、資質能力を修得したことを確認する。本学の教員養成の理念に基づき、教員として相応しい人間性を涵養するとともに、生徒、教員、地域の関係者や保護者との人間関係形成力、集団における協調性と統率力といった資質能力の育成を図る。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

- ・配布資料および参考文献の読解（30分程度）。
- ・模擬授業や発表にむけての準備（1時間程度）。

6. 成績評価の方法・基準

グループ・ディスカッション、ロールプレイング、補完指導、発表等の内容をもとに、教員としての基礎的な資質能力の定着を確認し、単位認定を行う。

7. テキスト・参考文献

必要に応じて適宜指示する（教職科目で使用したテキストや資料など）。

8. 受講上の留意事項

本科目は、教員に必要とされる資質能力が身についているかどうかを確認する、教職課程の総仕上げの授業であるため、真摯な姿勢で積極的に取り組むことが求められる。なお、全回出席を原則とし、遅刻や早退は欠席と見なす。

なお、教育実習関係資料や記録を持参すること。